

選挙にこう

みなさま、お元気に過ごされていらっしゃいますか。保育や子育てのよりいっそうの発展にむけての日々のご尽力、ごろうさまです。



さて、7月 20 日に参議院選挙が予定されています。昨年の衆院選で自民党が大敗し少数与党となって以来、はじめての国政選挙です。

この数年、あらゆるものが値上がりし、さらに米の高騰などで私たちの生活は本当に苦しくなっています。そうした中で、消費税の引き下げを求める世論が大きく高まり、今回の選挙の大きな焦点となっています。

消費税引き下げの声は、いうまでもなく、年々苦しくなる一方の暮らしを少しでもよくしてほしいという切実な願いの表れですが、その根底にあるのは、軍事費の際限の無い拡大や法律を破って私腹を肥やす汚い政治への強い、強い憤りです。

ですから、単に消費税の負担を減らしてほしいというのではなく、国民に大きな負担を押しつけながら福祉や暮らしをかえりみない政治、大企業や金持ちばかり優先する政治を、根本から変えなければいけません。



今回の選挙では、各政党が消費税や国民負担をどれだけ軽減するかだけでなく、「どうやって」実現しようとしているかという点に目を向ける必要があります。たとえば、一部の野党は消費税や国民負担の引き下げと引き換えに医療や福祉など社会保障の大幅な削減を進めようとしています。これでは、今や崩壊の危機に瀕している介護、医療、保育などの現場がますます追い詰められてしまうでしょう。

こうしたやりかたではなく、社会保障や福祉を抜本的に改善する政策をもっているか、平和を壊すもとになっている軍事費を削減しようとしているか、大企業や富裕層に公平な負担を求める税制へ改善しようとしているか、さらには気候問題や地球環境の問題にも積極的にとりくんでいるか。弱者を大事にし国民生活の全体に責任をもつ政策をもっているかを、よく見ていくことが必要ではないでしょうか。



ここ数年、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるパレスチナ虐殺、人権・民主主義・国際秩序を破壊するトランプ政権の誕生など、これまで想像もしなかったような大問題が立て続けに起こっています。どんな時代に私たちは向かっているのか・・・と不安に駆られますが、こんな時こそ、私たちは一人ひとりを大切にして、知恵を出し合って助け合う社会を実現するために、一つひとつの機会を大切にして、希望ある未来につなげていきましょう。



保育・子育てにたずさわるあなたへ

選挙にしよう!



子育て真っ最中の保護者のみなさん
保育園で働く職員のみなさん
いま、どんな願いをもっていますか?

「ギリギリの体制で休みがとりにくい、
余裕をもって保育をしたいのに…」
「仕事と子育てで精一杯…自分の時間も
大事にしたいのに…」
「子どもたちが大人になるころ、戦争や
貧困がない社会だといいな…」

そんな願いをかなえる一つのチャンス
が選挙です。子どもには選挙権がありま
せん。選挙権を持つ私たちおとなが、ど
んな選択をするかによって、子どもたち
の日々や未来が変わっていきます。

7月20日投票の参議院選挙で、私たちの願いを受けとめ一緒に実現しようとする政
党・候補者を見きわめ、一票を投じましょう!

7月20日投票 (期日前投票 7/4-19) 第27回参議院議員選挙

今度の参議院議員選挙では2回投票します。

- ①選挙区選挙は候補者名で投票
- ②比例代表選挙は政党名で投票
(比例代表の候補者名を書くこともできます)

2025年は
女性参政権80周年!

選挙年齢が18歳に引
き下げられて10年目



日本で初の選挙実
施から135周年。
節目の年だね!

発行: 全国保育団体連絡会 (2025年7月作成)
連絡先: 東京都新宿区納戸町 26-3 TEL: 03(6265)3171

イラスト: 近藤理恵